

古い町並みや城跡に JTが灰皿贈る 恵那市の分煙支援

古い町並みが残る恵那市岩村町の重要伝統的建物群保存地区、岩村城跡の分煙環境を整備してもらおうと、日本たばこ産業(JT)は11日、恵那市へ灰皿設備など一式を寄贈した。

昨年7月、同市観光協会岩村支部が分煙について同社へ問い合わせたことをきっかけに、同社と市、市観光協会が共同で同地区と城跡の分煙環境を整備することで合意。観光マップ付きの灰皿設備18台を明知鉄道岩村駅から同地区を経て城跡へと続く道沿いに置くことにした。

市役所で贈呈式が行われ、同社岐阜第二支店の山口達也支店長が小坂喬峰市長に目録を手渡した。山口支店長は「たばこを吸う人、吸わない人が共存するために、分煙環境の整備を推進したい」と話した。同社は、恵那市三郷町の道の駅「そばの郷らっせいみさと」にも灰皿設備5台を贈った。(三輪真大)



小坂喬峰市長に目録を手渡す山口達也支店長(右)＝恵那市役所